学校番号	４０１

令和２年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ａ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校　世界史Ａ　改訂版　（第一学習社）						
副教材等	グローバルワイド　最新世界史図表　三訂版（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業の中で流れを中心に「なぜ」「その結果どうなったか」などを考察させるので、自分の言葉でまとめられるようにする。グループワークや課題、自宅学習も積極的に行うこと。

２　学習の到達目標

世界史の大きな流れを把握し、現代の自分たちの生活や、現代世界の諸問題とのつながりを考えられるようになる。グループワークや課題を通して自分の意見をまとめ、発表できるようになる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	各授業で扱う項目について関心を持ち、グループワークなどに積極的に参加できている。	各小単元の問いを、既習項目から考え、自分の意見をまとめられている。また考えた問いを発表できる。	資料や図版を正確に読み取ることができる。	世界史全体の流れを把握し、単に用語を覚えるのではなく「なぜ」を軸に物事を深く理解できるようになる。
評価方法	ワークシート グループワークでの発言、発問への答え	授業での発表 ワークシート 定期テスト	ノート提出 ワークシート 定期テスト	定期テスト ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	世界史へのいざない	自然環境と歴史 日本列島の中の世界史	○				a:日本や自分たちの生活とのつながりに関心を持ち、授業に積極的に参加している	ワークシート グループワークでの 発言、発問への答え
1学期 2学期	世界の一体化と日本	前近代の諸文明 一体化に向かう世界 欧米の工業化とアジア諸国の動揺	○	○	○	○	a:古代から近代の世界史についてのさまざまな問いに、グループワークなどを通じて積極的に考えようとしている。 b: 各項目の問いに対して自分の意見をまとめ、発表できている。 c:各時代の地図や資料を活用し、時代背景や移り変わりを理解できている。 d:各時代の流れを把握し、「なぜ」を理解できている。	授業での発表 ワークシート 定期テスト ノート提出
3学期	地球社会と日本	現代社会の芽生えと世界大戦 冷戦から地球社会へ	○	○	○	○	a:近代から現代にかけての民族・領土などさまざまな問いに、グループワークなどを通じて積極的に考えようとしている。 b: 各項目の問いに対して自分の意見をまとめ、発表できている。 c:写真や映像資料を活用し、当時の世界の情勢や緊張感などをイメージできている。 d: 各時代の流れを把握し、「なぜ」を理解できている。	授業での発表 ワークシート 定期テスト ノート提出

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。